



でっかいのあったよー！さつまいもほり

今年も大きなさつまいもがとれました。
5月に1年生と2年生が植えたさつまいもを10月9日に掘り起こしました。中には子供たちの顔の大きさほどに成長したものもあって、子供たちの歓声は秋晴れの玄関前の駐車場に響き渡っていました。



学校保健委員会 10/7

子供たちと保護者の皆様、学校医、専門家、教職員と一緒に、子供たちの健康について考える「学校保健委員会」が10月7日に行われました。当日は5、6年保健委員の「睡眠」についてのステージ発表後、インターネットと健康の問題について福井市教育委員会青少年課カウンセラー竹野泰弘先生による講演がありました。子供たちには、「しっかりと聞いて家に帰ってから保護者の皆様にお教えするように。」と伝えましたが、話の内容は深刻なもので、多くの方に知っていただきたいことでしたので、ここで、概略をご紹介します。



- ・ ネットの利用時間を調べたところ、安居小は市内の平均に比べ長くなっていて、かなり心配。
- ・ ゲーム依存、ネット依存の怖さは、
 - ・ 視力の低下（ブルーライトによる）
 - ・ 脳がおかしくなる（もっとやりたい、いつまでもやりたいようになってしまう）
 - ・ ご飯やトイレまでも我慢して、時には死に至ることもある
- ・ 無料ゲームによるトラブルがある。無料と唱っているのに有料アイテムがいっぱいある。お小遣いを使い果たしてしまったり、中には親のカードで購入したりして、大変なことになった例もある。
- ・ SNSで、ぬいぐるみの写真を掲載しただけで、裏に隠れているデータで住所などの個人情報が出てしまう。

○これからみんなにとって大切なこと

- ①自分が熱中できること、スポーツや家族と過ごすなど、ネット以外のリアルな時間を大切にする。
- ②ルールを決める。「安居っ子スマートルール」を元に、自分のルール、自分の家のルールを作る。
例えば、「食事中はしない」「自分の部屋に持ち込まない」「夜〇時以降はしない」など
さらにルールで大切なことは、守れなかったときのルール（約束）を作っておくこと！

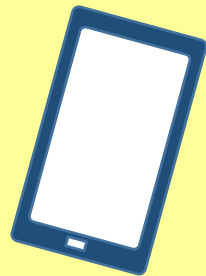
（通信ゲームを家から持ち出してトラブルになってしまう映像を見た後）

- ・ 通信できるゲームソフトの怖さは、友達だけでなく知らない人ともつながってしまうこと。
- ・ ゲームの約束を決めておくことも大事
 - ①1日1時間 ②外へ持って行かない ③夜7時まで等
 そして、この約束を守ること
- ・ 約束は自分を守ってくれるもの（犯罪に巻き込まれることなどから）
- ・ 子供たちに呼びかけ
 - ①慎重に扱う（大丈夫か問いかけつつ）
 - ②ルール、マナーを守って。約束を守る。便利に楽しく使う。

<裏に続きます>

○保護者の方に

- ・フィルターを必ずつけましょう
- ・親子で話をしましょう
- ・ルールを決めましょう（守れなかった時のことも含めて）



児童の感想

「ゲームの約束がこんなにあったとは知りませんでした。」

「ブルーライトを見すぎると、目や脳によくないことが、よくわかりました。」

「これまでゲーム機を外に持って行ったけど、こんなに怖い目に合うのなら、もう、持って行かないようにします。」

「これから、家の中でルールを決めてやろうと思います。」

参加された保護者の方からも、「休日のゲームの時間やタブレットの使い方を相談していこうと思います。」との感想をいただきました。

最後に、竹野先生からは、

「みんなは、気を付けようと思えばできる。まずは、気を付けて使うことに心がけましょう。」

と、会を締めくくられました。

私たち大人が子供の頃は、このようなネット環境が整っておらず、私たち自身も、今の子供たちと同様にこれまで体験したことのないネット社会に遭遇しています。今回の学校保健委員会での内容を参考にいただき、各ご家庭でよく話し合っ、この問題に立ち向かっていきましょう。

また、各家庭での取り組みを支えるために、PTA活動などで今回のような勉強会や講演会などを計画することも一つの方法かもしれませんね。

今回は、学校保健委員会でのお話でしたので、健康に関わるのが中心でした。ネット社会に関する資料が手元にありましたので、この後は、その内容を紹介します。



ネットの嘘

ネットの素晴らしさは、世界中の人と、簡単に情報を交換できることです。とても便利ですが悪用されやすい道具でもあります。

ネットには「嘘」も存在することを教えなければなりませんし、悪用する悪い大人がいることも教えなければなりません。（同性の同級生だと思っていた相手が年配のおじさんだってことも…）

また、ずっと残ることも忘れてはなりません。いいことも悪いこともずっと世界中に残っています。

犯罪から子供を守る

大人も騙されてしまうようなネット犯罪から子供を守るためには、◇個人情報を送らない ◇頼まれても写真を送らない ◇どんな相手でも絶対に合わない といったようなことを徹底して指導することです。

中学生にスマートフォンを買い与える条件として、「親がメッセージを毎日確認する」という家庭もあるようです。

子供をネット犯罪から守るためには、親がネットの悪意に敏感になることが必要ですし、不安になった時にいつでも親に相談できるような、日ごろの会話が必要だということです。

大人子供は関係ない

ネットは大人か子供かは関係ありません。一人の人間として扱われるのと同時に、子供であっても、許されないことをすれば、その責任を問われますし、人を傷つけるような行為は絶対に許されません。

ネットは使い方を誤れば人生を傷つけてしまう危険のあるものですが、それ以上に人生を豊かにしてくれるものでもあります。

私たち大人も、幸せな人生が送れるようなネット社会での生き方を、子供たちと一緒に学んでいく必要があります。

